

会員各位

岐阜県病院薬剤師会
会長 遠藤 秀治

第 282 回岐阜県病院薬剤師会研修会開催のご案内

拝啓

時下、先生におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。
さて、下記のとおり研修会を開催しますので、奮ってご参加頂きますようご案内致します。

敬具

記

日時：平成 26 年 1 月 11 日（土）午後 2 時 30 分より
場所：長良川国際会議場 4 階 大会議室

岐阜市長良福光 2695 - 2 Tel (058) 296 - 1200

【内容】 総合司会 大垣市民病院 薬剤部 鈴木 宣雄

1、 会長挨拶

2、 会員報告

1. 「 松波総合病院における CDTM 導入後の現状と今後の課題 」
松波総合病院 薬剤部 塚田 絢子 先生
2. 「 病棟薬剤業務における業務効率化の実践 」
東海中央病院 薬剤部 坂東 達也 先生
3. 「 薬剤師として知っておきたい抗血小板・抗凝固療法 」
医療法人 澄心会 岐阜ハートセンター 薬局 芦川 直也 先生

参加費：薬剤師会会員 500 円 非会員 2000 円

* 当研修会は岐阜県病院薬剤師会研修制度及び日本薬剤師研修センター研修制度に該当する研修会です。

主催 岐阜県病院薬剤師会

当院における CDTM 導入後の現状と今後の課題

¹社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 薬剤部

○ 塚田絢子¹、村上幹親¹、亀田英里¹、重田和也¹、長谷川裕矢¹、松本利恵¹、横井義浩¹、野田孝夫¹

【目的】平成 22 年 4 月 30 日に発出された医政局長通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」では、薬剤師が医師との事前の文章合意に基づき薬物療法を共同で実施することを推進している。これに基づき当院薬剤部において医師の負担軽減を目的として心臓血管外科入院患者を対象に共同薬物治療管理 (collaborative drug therapy management; CDTM) を導入し平成 25 年 7 月 16 日より運用を開始した。CDTM における薬剤師業務の実際とその効果について検討したので報告する。

【方法】薬剤師は事前に心臓血管外科医師 2 名から文書にて合意を得た以下の 2 つの業務を CDTM として行うことができる。①鎮痛剤・眠剤・下剤のプロトコルに基づく処方入力、②医師が対応不可の際の Do 処方(持参薬からの継続も含み、注射は当日分に限る)。②において変更が必要だと薬剤師が判断した場合は、その都度医師に疑義紹介を行った上で処方入力する。行った業務は実施後に紙面に記載し、医師に承諾印をもらう。

【結果】2013 年 7 月 16 日～8 月 31 日までの薬剤師による処方入力は合計 187 件(注射:74 件、内服:113 件)で、内訳はプロトコルに基づく処方 12 件、Do 処方 175 件であり、注射の 74 件は全て Do 処方であった。プロトコルに基づく処方 12 件のうち、鎮痛剤は 2 件、眠剤 9 件、下剤 2 件であった。また看護師から医師への依頼事項のうち薬剤に関連したものは、CDTM 運用前後で 1 日あたり平均 5.2 件から平均 2.4 件と減少し、全体の件数も運用前後で 1 日あたり平均 11.4 件から平均 6.9 件と減少した。

【考察】今回の CDTM 導入により、看護師からの依頼による Do 処方の入力や、プロトコルに基づく薬剤師の判断での投薬開始が可能になり、病棟に常駐している薬剤師と看護師の連携により医師の行ってきた一部の業務を迅速に代行できた。このことにより看護師から医師への依頼事項が減少し、医師の業務負担軽減を図ることができた。今後は今回のデータを踏まえ、新規プロトコルの作成および CDTM を適応する診療科の拡大を検討している。

題名：「病棟薬剤業務における業務効率化の実践」

○板東達也¹，佐久間晶基¹，多和田敏朗¹，高木珠希¹，仲谷誠司¹，荻野由里恵¹，渡邊彰己¹，水野善晴¹，佐藤嘉孝¹

1.公立学校共済組合東海中央病院 薬剤部

公立学校共済組合東海中央病院（以下当院）は病床 332 床・平均在院日数 14.8 日の一般病棟 5 病棟と HCU、PCU と 2 つの特殊病棟を持つ地域支援病院である。当院では平成 24 年 12 月より病棟薬剤業務実施加算を取得した。取得から現在に至るまでの病棟業務実施に伴う工夫について報告する。

一般病棟である 5 病棟に対し 1 日 4 名が病棟に常駐して、週 1 回の担当病棟掛け持ち制を導入した。病棟担当者が専用 PHS を持つことにより不在時においても病棟対応を行い、平日において病棟の常駐化が実現できた。

次に、病棟担当者間での視点を共通化するために服薬指導支援システムを改良し、認識の共有化と情報伝達の簡素化を行った。また、部門システムの改良や Microsoft Office Access を用いることで、1) 初回ハイリスク薬使用患者の抽出、2) 電子カルテシステムから患者情報と血液検査データの取得による全患者の腎機能、肝機能の状態把握の簡素化と介入対象患者の抽出を行った。これにより迅速に病棟業務が行えるようになった。

最後に、算定要件の一つである病棟薬剤業務日誌は Microsoft Office Access を用いて一元管理し、業務時間の大幅な短縮、容易な管理、全端末からの入力可能という利便性を実現した。

当院では病棟に薬剤師が常駐し、病棟薬剤師の業務を支援するツールを既存システムの改良・市販ソフトによる作成を行い、病棟チーム内の連携強化を行うことで病棟業務の体制を整えた。平成 25 年 8 月に病院全体への東海北陸厚生局の監査に際した病棟薬剤業務実施状況の書類監査、平成 25 年 11 月に病院機能評価受審に伴うチーム医療の評価を受けたが、本体制により指摘事項は特になかった。

病棟薬剤業務実施加算は勤務医の負担軽減を目的とした加算であり、個々の医師から負担軽減となった声は聞こえるものの、数値として提示できるものは現在得られていない。今後この業務が医師・看護師を初めとする多職種 of 負担軽減となり、これを数値化する努力をしていきたい。

薬剤師として知っておきたい抗血小板・抗凝固療法

医療法人 澄心会 岐阜ハートセンター 薬局

芦川 直也

抗血小板剤については、心血管系疾患における投与目的の多くが経皮的冠動脈形成術(PCI)後の血栓閉塞予防である。チエノピリジン系抗血小板剤が ticropidine から clopidogrel にとって代わり、有害事象の発生率は大きく低下したものの、PCIにおいて薬剤溶出性ステントが汎用されるようになって以降、自己中断もしくは手術等の医療行為に関連した休薬によりステント血栓症を発症する例が少なくない。この状況をふまえて、消化器内視鏡診療ガイドラインについては、抗血栓薬服用者への対応が昨年改訂され、出血リスク軽減だけでなく血栓症発現予防にも配慮した内容となった。そこで今回は、関連ガイドラインに基づいたステント血栓症を極力避けるための対応等、薬剤師として知っておきたい知識について報告する。

抗凝固剤については、warfarin にとって代わる新規経口抗凝固剤 dabigatran , rivaroxaban , apixaban が次々に上市されたが、これらの薬剤による有害事象は予想以上に多く、重大な出血事例も報告されていることから、薬剤師としても有害事象の回避および重篤化予防に取り組んでいく必要がある。当院において新規経口抗凝固剤投与症例の調査を実施したところ、dabigatran および rivaroxaban による有害事象発生リスクの高い症例群が明らかとなった。今回は、これらの薬剤を内服している症例に対して薬剤師がどのように関与していくかを報告させていただき、以前から汎用されている warfarin の投与症例における注意点および休薬時の対応についても触れさせていただく。

学術講演会のご案内

謹啓

時下、先生におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび下記のとおり学術講演会を開催させていただき運びとなりました。
ご多忙中誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内
申し上げます。

謹白

記

日時：平成 26 年 1 月 11 日（土）午後 4 時より

場所：長良川国際会議場 4 階 大会議室

岐阜市長良福光 2695-2 TEL (058) 296—1200

■製品紹介

『 多岐にわたる経皮吸収剤～新しい降圧剤貼付薬を中心に～ 』

トーアエイヨー株式会社 名古屋支店

■特別講演

座長 岐阜県総合医療センター 副院長兼薬剤センター部長

遠藤 秀治 先生

『 診療報酬改定への取り組みと将来展望 』

浜松医科大学医学部附属病院薬剤部

教授・薬剤部長 川上 純一 先生

共催 岐阜県病院薬剤師会
トーアエイヨー株式会社

※ 講演会終了後、グループディスカッションを計画しております。